第一フロンティア生命の外貨建変額個人年金保険



年金原資確定部分付変額個人年金保険(通貨指定型)

特別勘定　月次運用レポート

特別勘定名称
グローバル運用型VAR(米ドル)

この商品は、第一フロンティア生命を引受保険会社とする生命保険であり、預金とは異なります。

2026年11月発行

当商品は、一時払保険料を「定額部分」と「変額部分」に分けて運用します。
当レポートは特別勘定で運用する「変額部分」の運用状況を開示したものです。

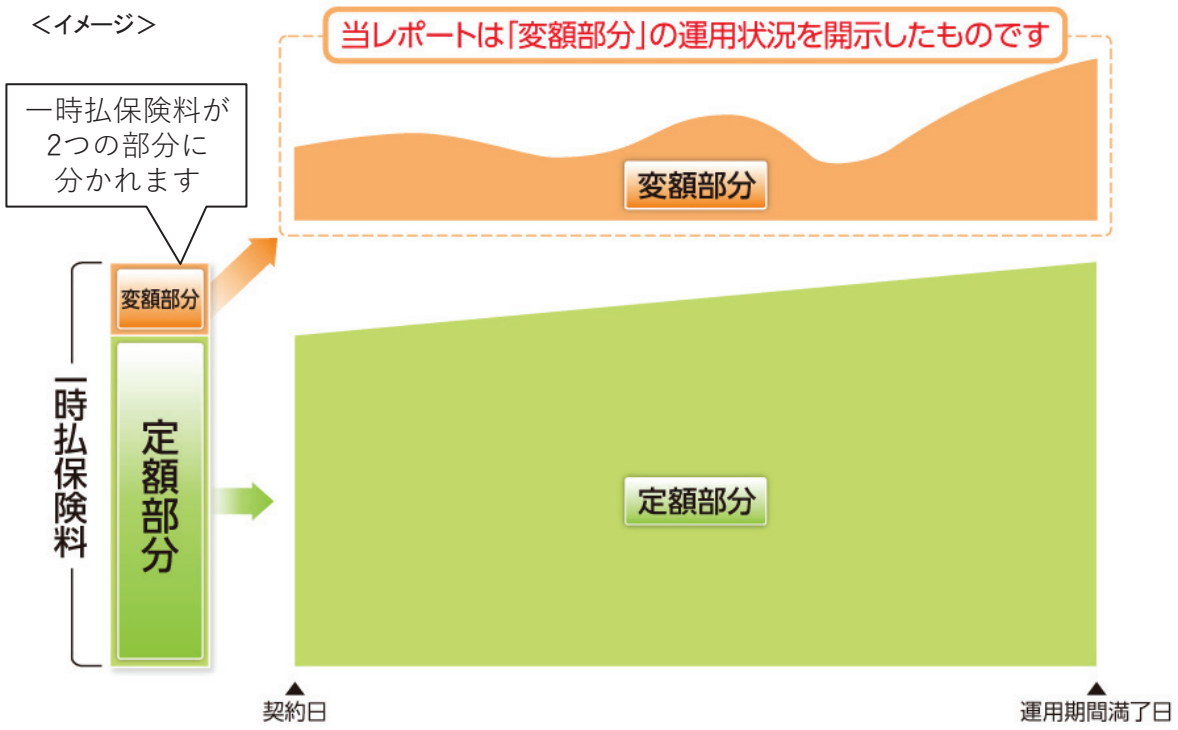
［募集代理店］

［引受保険会社］

第一フロンティア生命保険株式会社
〒105-0003　東京都港区西新橋1-1-1日比谷フォートタワー
ホームページ https://www.d-frontier-life.co.jp/
お客さまサービスセンター
フリーダイヤル　0120-876-126
営業時間 9:00~17:00(土日、祝日、年末年始などの休日を除く)

(登)B24F0521(2025.02.27)

この保険のしくみ図



お客さまに負担していただく諸費用について（この保険に係る費用は、以下の費用の合計になります）

運用期間中	定額部分における費用	直接負担していただく費用はありません。積立利率の計算にあたって、ご契約の締結・維持などに必要な費用および死亡給付金を支払うための費用をあらかじめ差し引いております。
	変額部分における費用	保険契約関係費 ・・ 特別勘定の資産総額に対して年率 1.85% 資産運用関係費※1 ・・ 信託報酬は、投資信託の純資産総額に対して年率 0.22%（税込）
	特定のご契約者に負担していただく費用	解約控除 ・・ この保険の基本保険金額に経過年数別の解約控除率（8.5%～0.9%）を乗じた金額
年金受取期間中	保険契約関係費（年金管理費）※2 ・・ 受取年金額に対して 1.0%（円貨で年金を受け取る場合は最大 0.35%）	
通貨を換算する場合の費用	「保険料円貨入金特約」、「保険料外貨入金特約」などの特約の為替レートは、為替手数料としてTTMとの差額（25銭～50銭）を加味したレートであり、その差額はお客さまの負担となります。※3 この他に外貨のお取扱いに必要となる費用を負担していただくことがあります。	

※1　上記の信託報酬のほか、信託事務に関する諸費用、監査費用、有価証券・金融派生商品の取引にかかわる費用および消費税などを間接的に負担していただきます。なお、売買委託先、売買金額などによって手数料率が変動するなどの理由から、これらの計算方法は表示しておりません。記載の信託報酬は当レポート発行月現在の数値であり、運用会社により将来変更される場合があります。

※2　年金額は、年金支払開始日以後、年金の支払いとともに費用を控除する前提で算出されますので、費用が年金額から差し引かれるものではありません。また、保険契約関係費（年金管理費）は当レポート発行月現在の数値であり、将来変更することがありますが、年金受取開始時点の保険契約関係費（年金管理費）は年金受取期間を通じて適用されます。なお、「死亡給付金等の年金払特約」を付加した場合の特約年金についても同様の取扱いとなります。

※3　為替レートは当レポート発行月現在の数値であり、将来変更することがあります。

特別勘定の運用レポート

2026年10月末現在

特別勘定で運用する「変額部分」の運用状況を開示したものです

特別勘定の投資方針

国内・先進国・新興国の株式、国内・先進国・新興国の債券、国内・先進国のREIT（不動産投資信託）などを実質的な投資対象とする投資信託に投資し、特別勘定資産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。

特別勘定の名称	主な投資対象となる投資信託の名称	運用会社
グローバル運用型VAR（米ドル）	りそなグローバルバランスファンド SG USD（適格機関投資家限定）	りそなアセットマネジメント株式会社

特別勘定の主な投資リスクについて

特別勘定は、国内・先進国・新興国の株式、国内・先進国・新興国の債券、国内・先進国のREIT（不動産投資信託）などで実質的に運用されるため、株価や債券価格の下落、為替の変動などにより、変額部分の積立金額、解約返還金額は変額部分の一時払保険料相当額を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

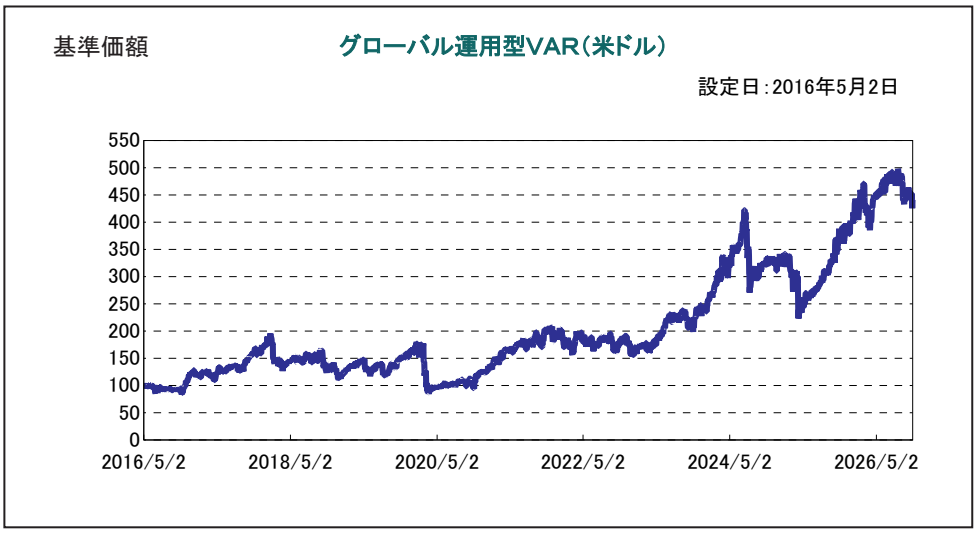
特別勘定資産の内訳

資産総額（百万米ドル）	資産構成	
	投資信託	現預金等
0.007	98.9%	1.1%

＊特別勘定は、投資信託を主たる投資対象として運用するほか、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有しています。

＊特別勘定資産の内訳は、投資信託の購入・解約の申し込み実績を反映しております。

特別勘定の基準価額と騰落率の推移



特別勘定の主な投資対象となる投資信託は円建ての投資信託であることから、米ドル対円の為替レートの影響により、特別勘定の基準価額の動きと、投資信託の基準価額の動きは異なります。

＊非表示部分を四捨五入

騰落率	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来	基準価額（2026年10月末）
	−1.96%	−8.69%	−0.14%	19.74%	118.29%	343.17%	443.1694

＊特別勘定の基準価額の値動きは、特別勘定が投資対象とする投資信託の値動きとは必ずしも一致しません。
特別勘定が一定の現預金等を保有していることや、特別勘定の基準価額計算にあたり保険契約関係費を控除すること等によるものです。

ご留意事項

＊年金原資確定部分付変額個人年金保険(通貨指定型)は投資信託ではなく生命保険です。また、この商品は預金とは異なり、預金保険法第53条に規定する保険金支払の対象とはなりません。募集代理店が元本の保証を行うことはありません。

＊このレポートは年金原資確定部分付変額個人年金保険(通貨指定型)の特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

＊このレポートには年金原資確定部分付変額個人年金保険（通貨指定型）の商品内容のご説明はございません。ご検討、お申込みに際しては、専用の「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）兼 商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」などを必ずお読みください。

＜参考情報＞　組入投資信託の運用レポート　【特別勘定の名称】グローバル運用型VAR（米ドル）

※　本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、りそなアセットマネジメント株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※　この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価格の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※　本資料に記載されている運用実績等は、過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
りそなグローバルバランスファンド SG USD（適格機関投資家限定）

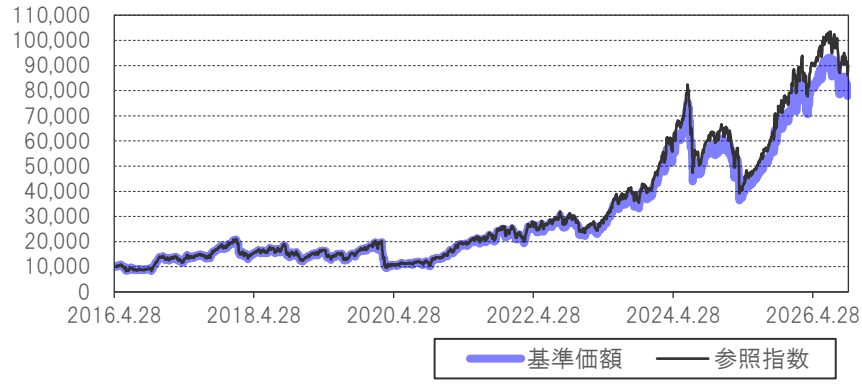
【設定・運用】
りそなアセットマネジメント株式会社

2026年10月30日現在

グローバル運用型VAR（米ドル）の主な投資対象であるりそなグローバルバランスファンドSG USD（適格機関投資家限定）は、円建ての投資信託です。この投資信託は、実質的に米ドルで行う運用と同等の経済効果があるように運用を行っていますが、円建ての投資信託であるため、その基準価額は米ドル対円の為替レートの変動の影響を受けます。

■投資方針
当ファンドはソシエテ　ジェネラル　ルクセンブルクが発行する参照指数連動債券に投資することにより、参照指数の動きに連動する投資成果をめざします。

基準価額の推移（税引前分配金再投資）



※　基準価額は税引前の分配金を再投資したものとして計算していますので、実際の基準価額と異なることがあります。
※　基準価額は設定日（2016年5月2日）の前営業日を10,000として、参照指数はファンドが参照指数連動債券による運用を開始した日の前営業日を10,000として表示しています。
※　基準価額は信託報酬控除後です。
※　参照指数の推移は、ソシエテ ジェネラルから提供を受けたデータを基に作成しています。

当月末基準価額・純資産総額

基準価額	81,183 円
純資産総額	1.2 百万円

ポートフォリオ構成（組入比率）

参照指数連動債券	95.9%
現金等	4.1%
合計	100.0%

※　組入比率は純資産総額に対する割合です。
※　計理処理の仕組みにより直近の追加設定分が反映されないことなどから、「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。

騰落率（税引前分配金再投資）

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ファンド	-1.84%	-10.39%	-1.10%	24.71%	142.75%	711.83%
参照指数	-1.89%	-10.53%	-0.78%	25.80%	151.95%	799.54%
差	0.05%	0.13%	-0.32%	-1.09%	-9.19%	-87.71%

※　騰落率は税引前の分配金を再投資したものとして算出していますので、実際の投資家利回りと異なることがあります。
※　参照指数の騰落率は、ソシエテ ジェネラルから提供を受けたデータを基に作成しています。

【参考情報】米ドル/円の騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
米ドル/円	0.12%	-1.98%	-1.78%	2.23%	5.37%	43.54%

※　為替レートは三菱UFJ銀行が公示するTTM（東京の対顧客電信売買相場の仲値）です。

○当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が作成したものです。
○当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
○投資信託は参照指数連動債券への投資を行います。参照指数連動債券の価格は参照指数の値動きによる影響を受けます。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り投資元本を割り込むことがあります。
○当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
○当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
○当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
○投資信託は
①預貯金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
②購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
③投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

※ 本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、りそなアセットマネジメント株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※ この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価格の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※ 本資料に記載されている運用実績等は、過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
りそなグローバルバランスファンド SG USD（適格機関投資家限定）

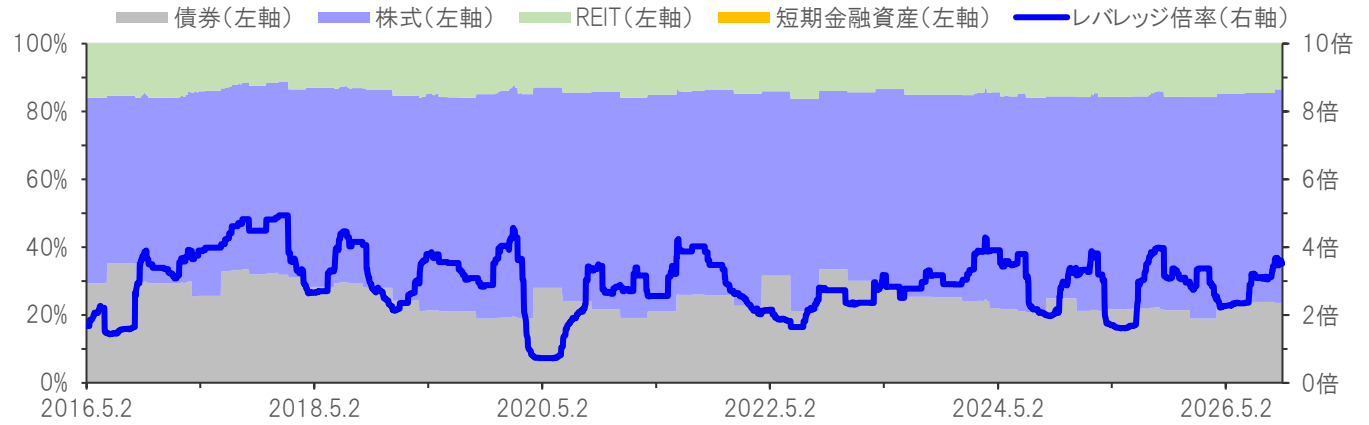
【設定・運用】
りそなアセットマネジメント株式会社

2026年10月30日現在

以下は、ソシエテ ジェネラルから提供を受けたデータに基づいて作成しています。

【参考情報】

■資産配分比率とレバレッジ倍率の推移（設定来）



■資産配分比率の状況

資産クラス		対象資産	配分比率		1ヵ月騰落率	参照指数寄与度（概算値）
			前月末	当月末		
株式	国内株式	TOPIX先物	21.89%	22.56%	-2.21%	-1.98%
	先進国株式	S&P500種指数先物	25.89%	25.98%	0.46%	0.89%
		ユーロ・ストックス50指数先物	3.54%	3.34%	-2.36%	-0.46%
		FTSE100指数先物	2.18%	2.05%	-0.38%	0.05%
		S&Pトロント60指数先物	1.20%	1.17%	3.08%	0.20%
		ASX/SPI200指数先物	0.62%	0.59%	1.60%	0.06%
	新興国株式	MSCIエマージング・マーケット・インデックス先物	6.39%	7.19%	-6.14%	-1.48%
債券	国内債券	日本10年国債先物	19.31%	19.17%	1.60%	1.07%
	先進国債券	米国10年国債先物	0.74%	0.74%	1.24%	0.05%
		ドイツ10年国債先物	0.51%	0.43%	2.10%	0.01%
		英国10年国債先物	0.08%	0.08%	1.34%	0.01%
		カナダ10年国債先物	0.06%	0.06%	0.77%	0.00%
		豪州10年国債先物	0.21%	0.24%	1.65%	0.02%
	新興国債券	iシェアーズJ.P.モルガン米ドル建てエマージング・マーケット債券ETF	2.87%	2.85%	0.33%	0.09%
REIT	国内REIT	東証REIT指数	7.30%	7.24%	-3.48%	-0.86%
	先進国REIT	iシェアーズ米国不動産ETF	7.21%	6.30%	0.83%	0.32%
短期金融資産等			0.00%	0.00%	—	—
—		米ドル/円	—			0.04%

※ 配分比率は各資産における配分の状況です。なお、このほかに対象資産の通貨（円、ユーロ、英ポンド、カナダ・ドル、豪ドル）売り米ドル買いの為替取引を行っています。
※ 1ヵ月騰落率は各対象資産（現地通貨建て）の騰落率であり、当ファンドの月末営業日の基準価額に反映される値を基に計算しています。
※ 参照指数寄与度（概算値）は参照指数（円建て）の騰落率に対する対象資産の寄与度を表したものです。ただし、概算値であり実際の参照指数（円建て）の騰落率を正確に説明できるものではありません。あくまでも傾向を計るための目安としてご覧ください。

○当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が作成したものです。
○当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
○投資信託は参照指数連動債券への投資を行います。参照指数連動債券の価格は参照指数の値動きによる影響を受けます。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り投資元本を割り込むことがあります。
○当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
○当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
○当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
○投資信託は
①預貯金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
②購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
③投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

＜参考情報＞	組入投資信託の運用レポート	【特別勘定の名称】 グローバル運用型VAR（米ドル）

※ 本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、りそなアセットマネジメント株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※ この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価格の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※ 本資料に記載されている運用実績等は、過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】 りそなグローバルバランスファンド SG USD（適格機関投資家限定）	【設定・運用】 りそなアセットマネジメント株式会社

2026年10月30日現在

以下「市況概況」および「運用概況」は、ソシエテ ジェネラルから提供を受けたコメントに基づいて作成しています。

市況概況

10月の株式市場は、国内では、東証株価指数は前月末比▲3.49%となりました。外国では、S&P500種指数は前月末比▲0.93%となりました。FTSE100は前月末比+1.17%となりました。

債券市場では、国内債券の利回りは0.28%低下（価格は上昇）となりました。米ドル建て債券の利回りは0.36%低下（価格は上昇）となりました。欧州では、ドイツ10年国債利回りが0.26%低下（価格は上昇）となりました。

為替市場では、米ドルは対円で0.12%の円安米ドル高となりました。

運用概況

参照指数は前月末比で▲1.89%となりました。平均レバレッジは355%でした。組入れ資産のパフォーマンスについては、TOPIX先物がマイナス寄与、ユーロ・ストックス50指数先物がマイナス寄与、MSCIエマージング・マーケット・インデックス先物がマイナス寄与、東証REIT指数がマイナス寄与、その他はプラス寄与となりました。

※ SGI RESONA DFLVA USDインデックスの著作権はソシエテ ジェネラルに帰属します。ソシエテ ジェネラルは指数の算出のためにS&Pダウ・ジョーンズ・インダイシズと契約を交わしています。
※ S&Pダウ・ジョーンズ・インダイシズは、当指数への出資、宣伝を行っておりません。また、指数の算出における過誤または遺漏につき一切責任を負わないものとします。

当月の市場環境と資産配分状況

＜市況概況＞

株式市場は、日本と米国で下落した一方、欧州では上昇しました。AI関連投資の収益性や資金調達環境を巡る懸念が世界的に広がったことを受け、国内では日経平均株価と東証株価指数（TOPIX）、米国ではS＆P500指数とナスダック総合指数がともに下落しました。一方、欧州ではAI関連銘柄の構成比率が相対的に低く、構成比率の高いディフェンシブ銘柄に資金が流入したことから、英国のFTSE100指数、フランスのCAC40指数、ドイツのDAX指数はいずれも上昇しました。

債券市場では、国内外で長期金利が低下（債券価格は上昇）しました。世界的なリスク回避姿勢の強まりを背景に、安全資産とされる国債への買いが優勢となりました。その結果、日本の10年国債利回りは前月末比0.28%低下の2.78%となり、7月末以来の水準まで低下しました。米国10年国債利回りも0.36%低下し、5%を下回りました。一方、欧州では英国およびドイツの10年国債利回りが低下した一方で、フランスでは財政赤字拡大や政治不安の高まりを受け、10年国債利回りが一時24年ぶりに5%を超える水準まで上昇しました。

＜今後の運用方針＞

先行指標であるグローバル総合PMI（購買担当者景気指数）は、好不況の分岐点となる50を上回っており、世界景気は米国を中心に緩やかな拡大が続く見通しです。原油価格の上昇による景気への下押し圧力や世界的な長期金利の上昇には留意が必要ですが、旺盛なAI関連投資や堅調な企業収益の伸びを支えに、株式優位の投資環境が維持されると予想します。

このような見通しを踏まえて、資産配分戦略は、国内株式、先進国株式、新興国株式および新興国債券の小幅『オーバーウエイト』、先進国債券および国内リートの『ニュートラル』、そして円建て債券および先進国リートの『アンダーウエイト』を維持します。

○当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が作成したものです。
○当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
○投資信託は参照指数連動債券への投資を行います。参照指数連動債券の価格は参照指数の値動きによる影響を受けます。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り投資元本を割り込むことがあります。
○当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
○当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
○当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
○投資信託は
①預貯金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
②購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
③投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。